

NPO  
北海道ファミリーハウス  
—NPO法人—  
**北海道ファミリーハウス通信**

2021年6月28日発行/No.26

発行：NPO法人北海道ファミリーハウス  
責任者：理事・事務局長 塩谷 えり子  
060-0807札幌市北区北7条西6丁目  
TEL (011)716-4161



特定非営利活動法人  
北海道ファミリーハウス  
理事長 南谷 晴之

# 第十四回 通常総会ひらく

## 新型コロナウイルス感染症拡大で書面表決

五月二十七日(木)

### ● 通常総会書面表決

#### ● 付議事項

- 第一号議案 二〇二〇年度事業・活動報告に関する件
- 第二号議案 二〇二〇年度収支決算報告・監査報告に関する件
- 第三号議案 二〇二一年度事業・活動計画(案)に関する件
- 第四号議案 二〇二一年度収支予算(案)に関する件
- 第五号議案 二〇二一年度役員を選任(案)に関する件

### ● 第一回理事会書面表決

#### ● 付議事項

- 一、理事長・副理事長の選任(案)
- 二、事務局長の任命(案)
- 三、主な業務分担(案)
- 四、今年度の活動(案)
- 五、顧問の選任(案)

### 二〇二一年度事業・活動計画

#### 一、事業実施の方針

昨年に引き続き、入院治療を受ける患者とその家族(小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族)を経済的ならびに精神的に支援する活動を行ってまいります。

## 二、特定非営利活動事業

### (一) 援助及び支援活動

入院治療を受ける患者とその家族(小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族)を経済的ならびに精神的に支援する活動を行ってまいります。

○ホテル利用者の割合が高くなる傾向にあることから、登録ホテルの充実を図ります。

○子どもたちの笑顔づくりの活動として、他団体との連携・支援を行います。

○治療に専念する子どもたちの希望に繋がる活動として、「そらぶちキッズキャンプ」を支援します。

○これまで自治体や病院向けに毎年発行してきた滞在施設情報(ガイドブック)は、ホームページを中心とし、患者支援窓口で案内しやすい方法を検討します。

### (二) 道民に理解を求める広報

インターネットを中心にしながら、あらゆる広報媒体を使って入院治療を受ける患者(小児がん等難病の子どもたち)及びその家族の現状についてPRする活動を行なう

ため、ファミリーハウス通信を発行します。

### 三、収益事業「しろくまハウス」の運営

二〇一九年度設置した「しろくまハウス」の利用結果を分析するとともに、今後の運営の参考とするため「利用者の声」(アンケート・要望や意見)を把握します。加えて、近隣病院とも連携を図ります。

### 二〇二〇年度

#### 助成金・寄付を頂戴しました

#### ■助成金 (敬称略)

- 北海道信用金庫 五万円
- ひまわり財団基金 五万円
- 赤い羽根北海道共同募金会 七万五千元

#### ■寄付

- 我汝会さつぽろ病院 一万円
- 赤間 勉(個人) 十万円
- 宮町 葉子(個人) 一万円
- 小林 博(個人) 一万円
- 大坂 淳子(個人) 一万円
- 大西 可奈(個人) 七千元
- 安保 有希(個人) 五千元
- 洞内亜希子(個人) 千五百円
- 吉村 和枝(個人) 千円
- ボランティア一同 千五百円
- (株)ゼタセグメント マスク・コーヒー多数
- フィリップスジャパン 子ども用電動歯ブラシ

ご支援のご協力に感謝申し上げます

皆様には日頃からファミリーハウス活動に対しご理解ご協力を賜りまして心からお礼申し上げます。

第十四回通常総会の開催にあたり準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の発生・拡大により繰り返し政府から緊急事態宣言が発出され、外出自粛等が強く求められました。

このため出席者の健康と安全を守るため昨年同様に事前に臨時理事会を開催し、通常総会ならびに第一回理事会を五月二十七日を開催日とし、定款の定めに基づき予め二〇二〇年度事業報告ならびに二〇二一年度事業計画(案)などを送付し「書面表決」する方法で開催しました。

### 第五号議案

二〇二一年度役員を選任(案)に関する件

についてお諮りし、議決権を持つ正会員全員賛成(委任状を含む)を得て報告・提案どおり決定しました。